|  |
| --- |
| ４００６．出港前報告訂正  （ハウスＢ／Ｌ）呼出し |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＣＨＲ１１ | 出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）呼出し |

１．業務概要

出港前報告した情報に対するハウスＢ／Ｌ＊１の訂正及び削除を行う場合に、本業務によりシステムに登録されている情報を呼び出す。

（＊１）「ハウスＢ／Ｌ」とは、「出港前報告（ハウスＢ／Ｌ）（ＡＨＲ）」業務または「出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）（ＣＨＲ）」業務（以下、「ＡＨＲ業務等」という。）でハウスＢ／Ｌとして登録されたＢ／Ｌを指す。

２．入力者

ＮＶＯＣＣ

３．制限事項

なし

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②以下のいずれかの条件を満たすこと。

・入力されたハウスＢ／Ｌに対してＡＨＲ業務等を行った利用者と同一である。

・入力されたハウスＢ／Ｌに登録された通知先と同一である。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）出港前報告情報ＤＢチェック

入力されたハウスＢ／Ｌに対して以下のチェックを行う。

①ハウスＢ／Ｌであること。

②「出港前報告Ｂ／Ｌ関連付け（ＢＬＬ）」業務により変更前Ｂ／Ｌである旨が登録されていないこと。ただし、同時に変更後Ｂ／Ｌである旨が登録されている場合を除く。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）出港前報告訂正情報（ハウスＢ／Ｌ）編集出力処理

出港前報告情報ＤＢより出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）呼出情報の編集及び出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（３）注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に訂正内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

６．出力情報

| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| --- | --- | --- |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 出港前報告訂正（ハウスＢ／Ｌ）呼出情報 | なし | 入力者 |